

はにわ通信

No.184 平成22(2010)年7月号



【宝塚古墳公園に『歴史看板』が設置されました】

ようやく梅雨に入り、鈴の森公園もきれいなアジサイの花の季節を迎えました。

今回の「はにわ通信」は、宝塚古墳公園に新しく出来た『歴史看板』を紹介します。

史跡宝塚古墳の麓にある宝塚古墳公園は、松阪市内・外から訪れた多くの人たちにご利用いただいています。この公園には、公園を利用しやすいように、駐車場・トイレ・あずまや・ベンチなど、自由に使える施設がつけられています。

今回、松阪市が全国に誇る古墳を見学していただくみなさんに、「古墳以外の歴史にもふれていただき、少しでも松阪を知ってもらおう」という目的で、駐車場から古墳につながる通路の脇に、松阪の歴史を紹介した看板が設置されました。

高さ55cmの台座の上に、直径約50cm・高さ60cmの円筒埴輪の形をした看板にプレートが埋め込まれたものです。看板は、駐車場から古墳にむかって現代、近代、近世1、近世2、古代・中世、古墳時代と6つあり、通路を通られるみなさんに松阪市の歴史をさかのぼりながら紹介しています。この歴史看板の製作には、文化財センターも今後の活用のこともあり、積極的に関わってきました。

5月29日(土)には、この看板を寄贈していただいた団体の代表者の方々や、ボランティアで古墳をガイドしていただいている「宝塚古墳公園市民参加の会」のみなさんにも参加いただき、除幕式が行われました。

みなさんも、宝塚古墳公園の近くにお出かけの際はぜひ一度ごらんいただき、松阪市の歴史にふれてみてはいかがでしょうか？

(担当)



歴史看板(左)と職員の解説をきく市民のみなさん(右)

【夏にむかって・・・】

大空の ^わみどりになびく 白雲の ^{まがはぬ夏に} なりにけるかな
 かがわ かげき
 香川景樹

まっさおな空、ひろがり流れる夏雲の白さがいちだときわだちます(このばあい「みどり」はふかい藍色)。ぼんやりとかすむ春の空でなく色もかたちも境い目のはっきりした夏空に、まぎれもない夏になったのだというおもいがあざやかに印象づけられています。

梅雨明けとともに、いよいよ「まがはぬ夏」の季節がはじまります。

文化財センターでは、夏休みの期間中「夏に古代の生活を体験しよう」をテーマに、小学生や中学生のみなさんが「勾玉」や「古墳時代のよろい」、いろいろな「はにわのミニチュア」などをつくって古代の生活にふれてみたり、また中学生のみなさんには、つくるだけでなく参加したみなさんにも教えるやくめなどを体験していただけるような、さまざまな企画を考えています。

夏のつよい日ざしや暑さにまけないで、いつもはできないことをたくさん体験し、おもいきりたのしめる企画にしていきたいとかがえていますのでご期待ください。(所長)



* 香川 景樹 江戸時代後期の歌人

【文化財センター はにわ館・ギャラリー 7月の催し物予定】

【はにわ館】 入館料100円(18歳以下無料。) 月曜日、祝日の翌日は休館です。

- 第1展示室 ・常設展「宝塚古墳の謎」
- 第2展示室 ・前期特別展「仏教開花～花開く仏教文化」 7/24(土)～9/26(日)

【ギャラリー】入場無料

- 第1ギャラリー ・アートフォーラム三重松阪『地元作家の今日展2010』～7/4(日) *4日は15時まで
- ・宇留田和裁塾作品展示『七夕』7/6(火)～11(日) *6日は13時から、11日は15時まで
- ・三重県立博物館移動展『水の恵みとゆくえ くらしと自然の関わりから考えてみよう』 7/17(土)～8/22(日)
- 第2ギャラリー ・絵画サークル水彩の会『夏彩花』7/10(土)～19(祝)
- ・『松阪ふるさと昔話 紙芝居原画展』7/27(火)～8/1(日)
- 第3ギャラリー ・百合絵画グループ展 7/4(日)～11(日) *4日は正午から、11日は16時まで
- ・第8回木游人 流木アート作品展『地(nature planet)球』7/19(祝)～8/15(日)



バーコード読み取り
(文化財センター情報)

開館時間：9時から17時(入館は16時30分まで)

【発行】松阪市文化財センター 【電話】0598-26-7330 【サイト】<http://www.city.matsusaka.mie.jp/>